

内山 節 氏 が語る



地域社会 の再生と 文化

地域社会をつくりだした柱に文化の共有があった。祭りや年中行事などの文化、生活文化、仕事の文化、さらには生死を支えていく生の文化や死の文化などもあった。ともに優れた芸術の担い手が現れた地域では、その芸術の価値を共有していく文化もあった。地域は文化の共有とともに形成されたのである。これからの地域づくりでも同じことがいえるだろう。さまざまな文化を共有していける社会が、力のある地域を再生できるのである。(講師より)

【講師プロフィール】

内山 節氏 うちやま・たかし
哲学者。1950年東京都生まれ。高校卒業後、大学などの高等教育機関を経ることなく、立教大学・東京大学の教員、立教大学大学院教授等を歴任した。現在、群馬県上野村と東京を往復しながら、畑を耕し、森を歩きながら暮らしている。著書に『いのちの場所』(岩波書店・2015)他多数。1997年～2016年、飯田市藤本四八写真文化賞審査員。

飯田市美術博物館

開館 30 周年

リニューアルオープン

平成元年に開館した当館は今年30周年を迎え、常設展を刷新しました。リニューアルオープン記念講演会の第2弾です。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

講師：内山 節 氏

(哲学者・元立教大学大学院教授)

日時：令和元年 9月23日 (月・祝)

13時30分～15時30分

場所：飯田市美術博物館講堂

※ 聴講無料、事前申し込み不要